

大阪体育学会第53回大会 シンポジウム

オリンピック・パラリンピックで日本を、大阪を元気に

Olympics and Paralympics have got to encourage Japan and Osaka

司会 齋藤 好史*

Yoshifumi Saito

趣旨説明

齋藤 それではシンポジウム、「オリンピック・パラリンピックで日本を、大阪を元気に」を始めさせていただきたいと思います。このシンポジウムの司会を担当いたします大阪産業大学で、本大会の実行委員長を務めています齋藤です。よろしく願いいたします。

これからのシンポジウムの進め方ですが、シンポジスト3人来ていただいております。それぞれのお立場から現在行っていること、そして、どこかで発表してきたことを含めて2020年にオリンピック、パラリンピックに向けての話をしていただきたいと思います。

2013年9月に東京オリンピックの開催が決定しました。それを見ていて、これで日本のスポーツは変わるなど、大変なことになると思いました。私は1984年のロサンゼルスオリンピックに水球代表で参加いたしました。今回の東京オリンピック・パラリンピックの大会ビジョンは「スポーツには世界と未来を変える力がある」ということですが、そのためには、すべての人が自己ベストを目指し、一人ひとりが互いを認め合う。それが世界と未来を変える力になるのだと思います。東京はもう既にオリンピックで、かなり先行しているので、ぜひ大阪も元気にということで、このテーマにいたしました。

* 大阪産業大学